

東都大学野球秋季リーグ戦展望

上級生の奮起に期待

東都大学野球春季リーグ戦は開幕から引き分けを挟み10連敗、そして1部最下位。立正大の入れ替え戦(6月12・15日、明治神宮野球場)で、秋のリーグ戦に期待も1勝2敗で敗れ、2部に降格した。



1部復帰の鍵を握る投手陣のひとり堀田 度追いつく 撮影・富樫幸恵(文3)

2戦目に今季初登板・初先発となった角谷幸輝(商2・専大松戸高)が6回無失点の好投を果たし、秋のリーグ戦に期待も1勝2敗で敗れ、2部に降格した。



主軸としての期待がかかる福永 撮影・富樫幸恵(文3)

1年次生も春季は多くの経験を積んだ。苦しい投手事情の中、上野南斗(文1・大社高)が堂々とした投球で1部の打者相手に果敢に挑み続け、秋のリーグ戦に期待も1勝2敗で敗れ、2部に降格した。

軸を打つ福永裕基(文3・天理高)らの中心打者が勝負強さを発揮できるか。投打ともに上級生の奮起に期待がかかる。

和田裕生主将 決意を語る

入れ替え戦に敗れ2部に降格した専大野球部は、秋季リーグ戦での1部復帰に向けて日々練習を重ねている。グラウンドでは常に味方を鼓舞し、自身も三塁手のレギュラーとして試合に出場した和田裕生主将に決意を語ってもらった。

入れ替え戦に敗れ2部に降格した専大野球部は、秋季リーグ戦での1部復帰に向けて日々練習を重ねている。グラウンドでは常に味方を鼓舞し、自身も三塁手のレギュラーとして試合に出場した和田裕生主将に決意を語ってもらった。

一丸となって復帰する

入れ替え戦を振り返った。それでも入れ替え戦を前にもう一度ひとりで奮闘するつもりだ。

入れ替え戦を前にもう一度ひとりで奮闘するつもりだ。自分たちは打点にずっとこだわってきたので、もっと打点を稼ぎたい。打点が悪い成績を残したいと増えればチームも勝てる。



和田裕生主将は主に5・6番を任せ、打率も3割を記録した。同じくレ

和田裕生主将は主に5・6番を任せ、打率も3割を記録した。同じくレ

秋元ベスト8賞

秋元は「チームに貢献できたことがうれしい」と話し、9月に開幕するリーグ戦に向け「声を出して先輩たちを盛り上げたい。出場のリターンをもらったら点数を稼ぎたい」と今後の活躍に意欲をみせる。

準決勝進出はならなかったが、順位決定戦で勝ち上がり5位。1年次ながら主力として活躍した秋元文香(文1・千葉経済大附高)がベスト8賞を受賞した。

7月1日から9日まで、エジプトのカイロで行われたバスケットボールのFIBA U19ワールドカップ2017に重富周(経済1・福岡第一高)が男子U19日本代表のメンバーとして出場。

課題の体力面を克服するべく、泳ぎ込みに力を入れて臨んだリーグ戦。高松楓主将(経済4・鹿児島南高)は、「他大学に泳ぎ負けはしなかった」と練習の成果を口にした。

予選トーナメントで敗退し、全日本大学選手権出場はならなかったが、敗者復活戦で国士館大田谷に17-0でコールド勝ち。全日本大学選手権に次ぐ、清瀬杯全日本大学選抜選手権(9月4日開幕、大阪市・大阪シテイ信用金庫スタジアムなど)の出場権を得た。

国士館大田谷戦では打線が爆発。三回に大野恵和(経営3・専大松戸高)の右越え3点本塁打などで5点を先制。四回にも今坂僚介(ネット情報4・常葉学園菊川高)の適時打など、6本の集中打で5点を追加した。大野は、「投手を楽にする本塁打が打ててよかった。これで夏も4年次生と野球ができる。出ることには清瀬杯も優勝したい」と語った。

高島が3位

全関東学生弓道選手権6月17・18日、千代田区・日本武道館。初出場の高島愛理(商1・若松商高)が女子個人戦決勝で3位入賞を果たした。

負けたくないという強い気持ちで高島は、プレッシャーに打ち勝ち、射技を終盤、有力選手が残り、的が小さな八寸的の中を重ねていく。

新生活に戸惑い、心が折れそうになった日々を思い出した。今回の入賞は止まらない。外した後も気持ちを切り替え、確と話した。

全日本大学駅伝関東学連推薦校選考会6月18日、さいたま市・駒場運動公園競技場。各校8人の1万円の合計タイムで争われ、専大は17位で全日本大学駅伝の出場を逃した。

初日を5位で終えたが最終日はスコアが伸びず17大学中7位。山田大晟主将(商4・横浜旭陵高)は「自分を含め力不足だった。10月の信夫杯に向け、頑張りたい」と次を見据えた。



射的後も集中した表情の高島

台北ユニバ6人が出場

8月19日から30日まで行われる第29回ユニバーシアード競技大会(2017/台北)に在学生、卒業生合わせて6人が出場する。

卓球部 安藤みなみ(商3・慶誠星学園高) 小笠原美奈(経営2・明星学園高) バスケットボール部 小笠原美奈(経営2・明星学園高) フェンシング部 鈴木李茄(平29商)

菊池小巻(商3・翔陽高) ローラースケート部 座間天平(文2・船橋芝山高) ※出場資格は17歳以上28歳未満で大学が大学院に在学中、または大会の前年に卒業した選手。

日本アマチュアゴルフ選手権(7月4・7日)は、榊山勝弘(商2・拓殖大学紅陵高)が26位タイだった。



安藤みなみ



小笠原美奈



菊池 小巻



座間 天平

涙を見せた長谷川だった

全日本大学出場ならず

全日本大学駅伝関東学連推薦校選考会6月18日、さいたま市・駒場運動公園競技場

7位に終わる

全国大学ゴルフ対抗戦6月15、16日、北海道・苫小牧ゴルフリゾート72